

週刊ニュース

2015年7月1日号 日本共産党神奈川区事務所

横浜市神奈川区西神奈川3-2-17 電話:491-6843、FAX:491-6892 http://www.usami-sayaka.jp//

上郷猿田地区 東急の開発計画、横浜市が容認

11万筆の反対の声を無視して、10歳を宅地等に

横浜市はこのほど、東急建設が提案してい る栄区上郷猿田地区における都市計画を市の 計画と位置付け、都市計画決定に向けて手続 きを進める方針を決めました。

貴重な動植物、自然の宝庫

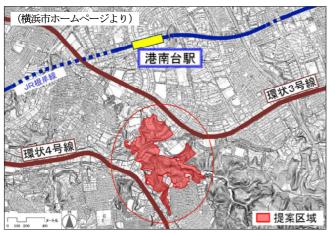
計画地区は、「緑の七大拠点」の円海山麓 に連なり、貴重な動植物が生息する自然の宝 庫で、古代の製鉄遺跡や江戸時代の横堰など の文化遺産も眠る貴重な緑地です。

同地区は、1985年ころから開発計画がたび たび持ち上がりましたが、実現には至ってい ません。2007年の東急建設による提出計画案 は、「瀬上市民の森」に連なる既存樹林地を 大幅に改変することなどから、市都市計画提 ける日本共産党横浜市議団=6月15日、横浜市栄区 案制度評価委員会が提案内容を否決しました。

今回の計画は2014年1月に市に提出されたも の。同地区約32分のうち、7割の約22分を特別 緑地保全地区、都市公園、地区計画緑地などの 緑地とし、3割の約10分を低層住宅、沿道集合 住宅、事務所店舗などの宅地用地等とする内容 です。

市は絶賛するが、反対署名に1.1万筆

市の計画提案に対する評価では、「注目すべ き動植物の保護等について、市民や専門家の意 見を取り入れながら進める必要がある」としな





上郷・瀬上の自然を守る会」代表の山仲氏から現地で説明を受

がらも、「里山景観を永続的保全するものと評 価できる」「総合的にも、地区の将来を見据え バランスに配慮した計画であると評価できる」 と絶賛しています。

しかし、市民団体「上郷・瀬上の自然を守る 会」(代表:山仲章介氏)が集めた開発に反対 する署名は11万筆にものぼっています。

これ以上の市街地開発はやめるべき

そもそも、今回の計画は、2002年に成立した 住民等による都市計画提案制度を使って、住宅 や店舗などが建てられない市街化調整区域を、 それらが建てられる市街化区域に変えようとい うものです。

人口減少時代に突入している現在、新たな大 規模な宅地開発は必要ありません。しかも、市 は、緑の減少を止めようと「横浜みどり税」ま で徴収しています。

日本共産党は、これ以上の市街地の拡大はや めるべきだと議会でたびた発言し、上郷開発を 認めないよう求めています。